



こめのやま

2016年3月15日

No.74

発行責任者／伊見 万弓

新病院 特集号



オープニングセレモニーにて



新病院オープン
ごあいさつ

私達米の山病院がこの地に「働くひとびとの医療機関」「無差別・平等の医療」を理念に誕生して約60年が経とうとしています。この間の活動の拠点であった旧病院も最近は老朽化が目立ち、新しい病院の建設が望まれていました。

そして数年間の論議の末、今回待ちに待った新病院が建ち上がりました。

昨今の医療情勢、社会情勢の悪化、特に高齢化、貧困化は急速に進んでおり当院創設時の理念の意義は薄まるどころか、更に重要性を増しています。

また、地域の崩壊が叫ばれる中、まちづくりの問題も当院の重要な課題となっています。

今回の新しい病院は今後の長い年月、地域医療やまちづくりの拠点となるにふさわしい堂々とした姿ですが、職員一同も地域や患者のみな様方のご期待に応えるべく、更に邁進する決意です。

院長 後藤 良三

医療法人 親仁会

米の山病院



日本医療機能評価機構認定病院
臨床研修指定病院

新米の山病院 外来のご案内



3月1日、ついに米の山新病院がオープンとなりました。いままでご協力いただいたたくさんの方々の皆様、本当にありがとうございます。

新米の山病院の外来をご紹介させていただきます。

正面入り口は全面大きな窓になっており、とても明るく、広い待合室が印象的となっております。

新病院では自動受付再来機が新しく導入となり、患者様へのスムーズな案内をめざしています。また、総合受付カウンターは、車いすでもご利用しやすい様工夫がされています。

これからは私たち職員が、安心・安全の医療をご提供することで皆様にお返しをしていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いたします。

外来医事課課長 角田 淳

新病院建設担当者より



新病院建設準備室
室長 内田 雅 仁

2016年3月1日、米の山病院がオープンしました。新病院建設のプロジェクトが発足して4年7ヶ月、職員との打ち合わせや友の会、地域の方々から多くのご意見を頂きながらようやく完成を迎えることができました。これも偏に皆さま方のお力添えのおかげと深く感謝しております。

当院は、無差別平等の医療と福祉の実現を掲げ、患者の立場に立った、親切で良い医療を目指してきました。新病院となってもこの民医連の魂を引き継ぎ、地域に根ざし、患者に寄り添う医療を実践して、安心して住み続けられるまちづくりを実践していく事が我々の使命だと考えております。引き続きご支援、ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

研修医ニュース 12

2016年2月13日に、福岡市の千鳥橋病院にて、大阪医科大学総合診療科、鈴木富雄先生の研修医カンファレンスに参加してきました。

鈴木先生はNHKのドクターGに何度も出演されている、総合診療科のスペシャリストで、実際に参加したカンファレンスもテレビ番組さながらに行われました。

特に印象に残ったのが、病気を絞って込んでいく過程もですが、常に実際の診療現場を想定しておられ、患者の事を第一に考えられて進められていました。時にはユーモラスな発言も飛び出し、テレビで見ると以上に勉強になり、非常に楽しいカンファレンスでした。

総合診療科は、



今後の高齢化が進んでいく日本の中で、強く求められていく分野です。カンファレンスに参加するだけでなく、勉強した事を患者さん方に還元出来るよう、日々の診療を頑張っていきたいと思っております。鈴木先生、本当にありがとうございました。

2年目研修医
後藤 俊作

新病院 内覧会を開催しました！



2月21日、新病院オープンに先駆け内覧会を開催いたしました。

当日はお天気にも恵まれ、たくさんの方々に来場いただきことができました。誠にありがとうございました。

「地域に根ざした病院を 患者に寄り添う医療を」をスローガンに建設してまいりましたが、いざ完成し、患者さんと一緒に病院の中を歩いてみると、まだまだ気づいていなかったこと、見えていなかったことがいっぱいでした。

建物は完成しましたが、中身はこれから、患者さんと共につくりあげて行きたいと思っております。どうぞ、遠慮のないご意見をお聞かせ下さい。

そして、新生米の山病院を末永くよろしくお願いたします。

内覧会事務局長 坂田 あゆみ

米の山病院の新築移転に期待します

米の山病院の新築移転おめでとうございます。現在の西側の自然環境に恵まれた広い敷地に品格のある落ち着いたデザインと素晴らしい病院が誕生しました。病院建築に精通した実績のある設計および施工技術者の卓越した力もありませんが、この病院を利用する多くの皆さんの意見を汲み上げる病院づくりのシステム（病院の全部門から構成されたPJ会議と建設準備室、各部門会議、課題ごとのWG、外部の建設委員会）と職員、友の会の皆さんの情熱が大きな役割を果たしました。

私も外部の建設委員としてこの3年間関わりましたが、この病院づくりの理念と体制、取り組みの緻密さ、情熱はこの病院にも負けない素晴らしいものでした。無差別・平等の医療理念を持つ地域に根ざした病院、



質の高い医療と臨床研修病院としての責任、患者に寄り添う優しさとアメニティ溢れるデザイン、職員が機能的で働きやすい病院という課題に見事に応えていきます。

超高齢化社会の中で、新米の山病院が地域での重要な役割を果たされることを期待します。

新谷 肇一

米の山病院

理念と基本方針

理 念

わたしたちは、患者の権利を守り、安全・安心・信頼の医療・福祉の実現に全力を尽くします。

基 本 方 針

1. 地域にやさしい病院づくりをめざします。

高齢化が著しく進む有明地域において、必要な医療・介護が提供できる病院をめざします。また、差額ベッド料などの差額は徴収しません。

2. 医療の安全性を追求します。

患者・地域住民が、「安心して受診できる」「信頼できる」病院をめざします。

3. 医療機関・施設、地域との連携を推進します。

医療機関・施設との連携をはじめ、友の会と共に地域全体で患者をみていく「地域完結型」の医療・福祉をめざします。また、平和を守ることや社会保障制度を改善していく取り組みなども広めていきます。

4. 臨床研修病院としての役割を発揮します。

医師をはじめとした医療従事者を確保し、地域に貢献できる医療人を育成します。



春キャベツでつくる 白身魚のロールキャベツ

材 料 (2人分)

- ・キャベツ……………大3~4枚
- ・白身魚……………2切れ、約200g
(骨、皮は除いておく)
- ・人参……………1/3本
- ・ほうれん草………2株
- ・塩・胡椒・カレー粉
- ・コンソメだし…100cc
- ・付け合わせの野菜



調理師
坂口 良太

作り方

- ①キャベツは軸のかたい部分をそぎ、人参は5cmの長さの拍子切りほうれん草は根元を除いて5cmの長さに。
- ②魚は3cm大に切り、塩、胡椒でしっかり味をつけ、ごく少量のカレー粉をまぶす。
- ③1を耐熱皿にのせラップをかけて、電子レンジで600w約1分半かけ キャベツ、ほうれん草を取り出し人参はさらに1分加熱する。
- ④巻きす代わりにラップを敷きキャベツを広げる、その上にと3をのせ、しっかりと巻いていく。
- ⑤熱したフライパンに油をひき、4と付け合わせの野菜に焼き色をつけていく。色がついたらコンソメだしを入れふたをし、中火で約4分。
- ④と焼き野菜をとりだし、器に盛り付ける。蒸し汁を塩・胡椒で味をととのえソースとして4にかけ完成。

ワンポイント

- ・キャベツとほうれん草はレンジで柔らかくしすぎない。
- ・カレー粉はあくまでも隠し味です。
- ・お好みで焼き油に、にんにくをどうぞ。



クイズ 頭の体操

問題

漢字を合体させて二字熟語を作るゲームです。
次の漢字を合体させると何になるのでしょうか？

木+ム+夕+車+ノ+夕+二=??

No.73 (1月1日号)の答は **初夢** でした。

ご応募ありがとうございました。

当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAXでも可。×切は2016年4月10日。

機関紙や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

☆新・米の山病院の完成おめでとうございませう！
(Nさん)

☆これからの米の山病院に期待しています。
(Tさん)

皆様からのお便り
ありがとうございました。



夜間小児当番医のお知らせ

夜間小児当番医 (19:00~22:00)

3月12日、3月26日、4月9日、4月23日

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ

新病院建設ニュース vol.21



建物が完成

新病院建設準備室 室長:内田 雅仁



2016年2月、築37年の米の山病院本館と築31年の新館の建物から一新し、職員や地域の方々の思いや期待が込められた新病院が完成しました。そして3月1日のオープンに向け、2月は引っ越しの準備や内覧会、祝賀会の準備等それぞれのワーキンググループで毎週のように検討が行われ、職員の顔色も引越しモード一色となりました。

各職場では図面とメジャーを片手に毎日職員が新病院の中に入り、備品の配置や業務のシミュレーションが行われています。実際建物の中を見ることにより図面とイメージが違い、配置の変更を検討する職場もあり、コンセントの位置が合わなくなるなど試行錯誤しながらも準備が進められています。

地域の方々からは見学の要望もあり、30名規模の見学会を行いました。その中で、新しく綺麗になったことにより、入院費のことを心配される方もいらっしゃいました。差額ベッド料を頂かないことや、無料低額診療を行っていることがまだまだ知られておらず、我々が医療に雇われず困ってある方へ実践している医療をもっと広く訴えていく必要があることを痛感しました。

私たちは医療に差別を持ち込まないこと「いのちの平等」を綱領に掲げ、無差別平等の医療と福祉の実現を実践していきます。



新病院入口の様子

新病院になったら
「地域医療、町づくりの新たな拠点に」

院長：後藤 良三



新病院が立ち上がりました。数年来いつかいつかと待ちわびた新しい病院がついに完成しました。

一昨年から徐々にその姿を現していました。ついにその威風堂々とした雄姿を見ることができました。

ただただ、うれしい、良かったの一言であり、この時に居合わせた自分の幸運にも感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、次は私達職員の番です。「患者に寄り添い、地域に優しい病院」にふさわしい医療人になるように奮闘しなければなりません。職員一同皆決意を新たにしています。

そしてこの病院が今後20年、30年にわたり、私達が目指す地域医療、町づくりの新たな拠点に名実ともなるように更に努力してゆく所存です。



新病院建設委員会からのお知らせ

オープン間近の院内を紹介します

右の写真は、外来待合です。イスなどの什器が配置されると、さらに病院らしくなってきました。

2階には、念願だった広い会議室（多目的室と会議室2室を開放すると、テーブル掛けで約150名を収容する大会議室となります。このスペースの利用目的は、職員の会議だけでなく、



内覧会前日の外来待合

病院、友の会、患者会などが主催する教室会場にも使用する想定で設計されています。

病棟は、一つのフロアに2つの病棟を持つ設計で、両病棟の共用スペースに食堂を広く取りました。



病棟内の食堂

病室には、ベッド、サードテーブル、看護師の経験から生まれたアイデアがたくさん詰まった床頭台、チェストが揃いました。



病棟内の食堂



病室内

療養中の患者様が快適に過ごす事ができる環境となっています。

また、病棟から見る眺めは、東は三池山、西は大牟田市内を眼下に有明海、天気が良ければ対岸の長崎県が見渡せます。

こめこめ
つらら



私たちの持つ

目標を高くかかげて

米の山病院は61年前の出発から3回の建て替えを実施し4番目の建物が出来上がりました。

親仁会の歴史を振り返る機会があり、創立15周年・日本館落成記念の冊子に目をふれ、感じた事は、創立当初から「地域の方々・患者さん」が常に中心にすわっており、まったくぶれずに現在まで脈々と引き継がれているという事でした。これからも「私たちの持つ目標」を高くかかげ実践し、これから入職してくる職員に引き継いでいきたいと思えます。

坂口 誠

新病院建設準備室

☎ 5312711